

# 令和3年度アドミッション・センター活動報告

アドミッション・センター長 瀨 瀬 守

令和2年4月教育推進・学生試験機構を改組、機構にアドミッション・センターを設置して2年目となる。センターに全学入学試験委員会を構成組織として持ちながら、入学者選抜実施部門と入試広報・調査研究部門を置いて活動している。

## I 全学入学試験委員会

全学入学試験委員会の議事について表1に示す。

表1 全学入学試験委員会

開催日	主な議題
4月28日	報告事項 1. 令和3年度岐阜大学（学部・大学院）入学者選抜結果について 2. 前年度専門部会及び出題部会からの申し送り事項について 審議事項 1. 委員長代理について 2. 令和4年度入試以降の入学者選抜検討スケジュール（案）について 3. 令和4年度入学者選抜試験における情報処理日程（案）について 4. 工学部入学者選抜基準の一部改正（案）について 5. 入試ミスの対応について 6. 令和7年度以降の一般選抜における大学入学共通テストの科目について 連絡事項 1. 令和4年度入学者選抜に向けた入試広報について 2. 令和3年度全学入学試験委員会の開催予定日等について 3. 入試業務資料集（令和4年度入試用）について
5月26日	報告事項 1. 岐阜大学入試統計資料集（令和3年度入試）について 2. 令和4年度入学者選抜関係日程について 審議事項 1. 応用生物科学部入学者選抜基準の一部改正（案）について 2. 大学院医学系研究科医科学専攻入学者選抜基準の一部改正（案）について 3. 岐阜大学オープン・キャンパス2021について 連絡事項 1. 入試業務資料集の追加配付について
6月23日	報告事項 1. 令和3年度岐阜大学入学試験個人成績及び調査書の開示請求件数について 2. 令和4年度工学部3年次編入学（推薦）入学者選抜結果について 3. 工学部ツイニングプログラム（ダナン工科大学）の令和5年度以降の入学者募集停止について 審議事項 1. 令和5年度教育学部一般選抜前期日程（美術教育講座）における実施方法等の変更について 2. 令和4年度医学部医学科入学者選抜（学校推薦型選抜Ⅱ・一般選抜）の募集定員の変更及び令和5年度医学部医学科入学者選抜の後期日程学生募集の停止について 3. 教育学部入学者選抜基準の一部改正（案）について 4. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正（案）について 5. 地域科学部入学者選抜基準の一部改正（案）について 6. 令和4年度入学者選抜に関する要項（案）及び7. 令和4年度特別選抜

	<p>(学校推薦型選抜Ⅰ・社会人・帰国生) 学生募集要項(案)について</p> <p>7. 令和4年度特別選抜(学校推薦型選抜Ⅰ・社会人・帰国生) 学生募集要項(案)について</p> <p>8. 岐阜大学オープンキャンパス 2021 実施計画案について</p> <p>9. 出題等点検体制について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 令和4年度入学者選抜にかかる新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施について</p> <p>2. 令和4年度一般選抜(後期日程) 個別学力試験科目入試問題事後チェックについて</p> <p>3. 大学入学共通テスト追試験及び実施日程等について</p> <p>4. 大学院入試等の検定料の納入方法について</p> <p>5. 入試業務資料集の追加配付について</p>
7月28日	<p>報告事項</p> <p>1. 諸会議報告</p> <p>(1) 令和3年度岐阜県大学入学共通テスト連絡会議(7月12日)</p> <p>(2) 2021年度大学入試に関する高校・大学の交流会(オンライン(Zoom))(7月19日)</p> <p>2. 令和4年度工学部3年次編入学入学者選抜結果について</p> <p>3. 令和4年度応用生物科学部3年次編入学入学者選抜結果について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 令和5年度社会システム経営学環(学校推薦型選抜Ⅱおよび一般選抜前期日程)における選抜方法の変更について</p> <p>2. 令和4年度一般選抜及び特別選抜の追試験について</p> <p>3. 令和4年度大学入学共通テストの試験場設定(追試験を含む)及び各学部(校舎)別の志願者割当数等(案)について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 令和4年度入学者選抜に関する要項及び特別選抜(学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ・社会人・帰国生) 学生募集要項(日程)等について</p> <p>2. 入試業務資料集の追加配付について</p>
9月29日	<p>報告事項</p> <p>1. 令和3年度岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会</p> <p>2. Webオープン・キャンパス 2021のオンライン企画実施状況について</p> <p>3. 令和3年度前期入試広報状況について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正(案)について</p> <p>2. 社会システム経営学環入学者選抜基準の一部改正(案)について</p> <p>3. 令和4年度大学入学共通テストの試験場設定(追試験を含む)及び各学部(校舎)別の志願者割当数等(案)について(継続)</p> <p>4. 令和4年度入学者選抜試験における情報処理日程(案)について</p> <p>5. 令和4年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項(案)</p> <p>6. 同私費外国人留学生選抜学生募集要項(案)について</p> <p>7. 令和4年度一般選抜(追試験)実施(案)について</p> <p>連絡事項</p> <p>1. 令和4年度大学入学者選抜における感染症対策の徹底等について</p> <p>2. 令和4年度の国立大学の学部における定員超過に係る国立大学法人運営費交付金の取扱いについて(通知)</p> <p>3. 「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」及び「令和7年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」について</p> <p>4. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催ウェビナー「変わる高校の教育 2022年度実施 新高等学校学習指導要領について」の開催について</p> <p>5. 入試業務資料集の追加配付について</p>
10月27日	<p>報告事項</p> <p>1. 令和4年度及び令和3年度(秋季入学) 大学院入学者選抜結果について</p> <p>2. Webオープン・キャンパス 2021 アンケート集計結果等について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 医学部看護学科アドミッションポリシーの一部改正(案)について</p> <p>2. 教育学部入学者選抜基準の一部改正(案)について</p> <p>3. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正(案)について</p>

	<p>4. 令和4年度岐阜大学一般選抜学生募集要項(案)について</p> <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症等による特別選抜(学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ等)の無症状の濃厚接触者の対応について</li> <li>2. 令和4年度大学入学共通テストの実施に向けてのスケジュール等について</li> <li>3. 一般選抜(個別学力検査)に係る作問,点検及び採点担当の教科登録について</li> <li>4. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催ウェビナー「変わる高校の教育 2022年度実施 新高等学校学習指導要領について」の動画公開について</li> </ol>
11月24日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度大学入学共通テストの確定志願者数について</li> </ol> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域科学研究科(修士課程)入学者選抜基準(令和4年度追試験)の制定(案)について</li> <li>2. 岐阜大学オープン・キャンパス2022の日程(案)について</li> <li>3. 入学者選抜試験に係る問題等の作成及び点検におけるガイドライン(案)について</li> </ol> <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル高大接続連携部門FDの開催について</li> <li>2. 各学部責任者等への大学入学共通テスト説明会について</li> </ol>
1月26日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度地域科学部学校推薦型選抜Ⅰ,社会人,帰国生,3年次編入学入学者選抜結果について</li> <li>2. 令和4年度医学部看護学科学部学校推薦型選抜Ⅰ,社会人選抜入学者選抜結果について</li> <li>3. 令和4年度工学部3年次編入学(ツイニング・プログラム)入試入学者選抜結果について</li> <li>4. 令和4年度応用生物科学部学校推薦型選抜Ⅰ入学者選抜結果について</li> <li>5. 令和4年度大学入学共通テストの実施状況について</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染症の影響による、令和4年度私費外国人留学生選抜検定料の返還について</li> <li>7. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル高大接続連携部門FDについて</li> </ol> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和5年度教育学部一般選抜における実施方法等の変更について</li> <li>2. 令和5年度医学部医学科一般選抜(前期日程)の第1段階選抜実施倍率変更について</li> <li>3. 令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保の検討について</li> <li>4. 入学者選抜試験に係る問題等の作成及び点検におけるガイドライン(案)について【継続】</li> <li>5. 令和4年度一般選抜(追試験)実施方法公表(案)について</li> </ol> <p>連絡事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインの一部再改訂について</li> <li>2. 令和4年度岐阜大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症濃厚接触者の受験について</li> <li>3. 令和4年度一般選抜実施要領《試験実施本部と試験場本部との連絡事項》について</li> <li>4. 令和4年度一般選抜監督要領について</li> <li>5. 令和4年度追加合格手続要項について</li> <li>6. 入試業務資料集の追加配付について</li> </ol>
3月23日	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和4年度入学者選抜結果について <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般選抜(前期日程・後期日程)</li> <li>・学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ</li> <li>・私費外国人留学生選抜</li> </ul> </li> </ol>

	2. 令和4年度大学院入学者選抜結果について 3. 令和4年度一般選抜（前期日程・後期日程）の実施状況について 4. 令和4年度一般選抜（前期日程・後期日程）等において受験上の配慮申請のあった入学志願者について 5. 令和4年度一般選抜（前期日程・後期日程）の追試験申請のあった入学志願者について 審議事項 1. 工学部一般選抜入学者選抜基準の一部改正（案）について 2. 一般選抜入学者選抜基準（追試験）について ・教育学部           ・医学部医学科           ・工学部 ・応用生物科学部       ・社会システム経営学環 3. 令和4年度大学入学者選抜における受験機会の更なる確保の検討について【継続】 4. アドミッション・センター関連諸規則等の一部改正（案）について ・岐阜大学入試情報公開規程 ・危機管理対策行動マニュアル（入試関係） 連絡事項 1. 令和4年度入学者選抜に向けた入試広報について 2. 入試業務資料集（令和4年度入試用）の回収について
--	---

## II 入学者選抜実施部門

### 1 各教科専門部会・出題部会・採点部会

国語、数学、物理、化学、生物、英語の各科目専門部会を4～9回、各科目出題部会を8～11回開催し、問題作成、点検等を行った。

また、専門部会主任および出題部会委員は、前・後期日程当日の当該科目試験時間に待機し、質問等に備え、各科目採点部会委員は、前・後期日程それぞれについて、採点、採点データ入力・確認等の業務を行った。

### 2 入試情報処理専門部会

28回開催し、学校推薦型選抜Ⅱ、一般選抜（前・後期日程）の各学部判定資料作成を始め、大学入試センターとのデータ送受信等の入試関係情報処理業務を行った。

### 3 活動内容及び成果

入学者選抜実施部門では、以下の3つの業務を所掌することとしている。

- 1 入学者選抜の実施に関すること
- 2 大学入試センターが実施する試験の実施に関すること
- 3 その他入学者選抜に関すること

特に、以下の事項について取り組んだ。

- 新型コロナウイルス感染症に対応した入学者選抜
- 不正行為防止の強化
- 試験場内警備の強化

## III 入試広報・調査研究部門

入試広報・調査研究部門では、以下の4つの業務を所掌することとしている。

- 1 オープン・キャンパス、大学説明会等の企画、立案及び実施に関すること。
- 2 入学者選抜方法の改善に係る調査研究に関すること。

- 3 大学案内の作成に関すること。
- 4 その他入試に係る広報及び調査研究に関すること。

## 1 会議等

令和3年度の部門会議について表2に示す。

表2 入試広報・調査研究部門会議

開催日	主な議題
4月23日	検討事項 1. 令和3年度入試広報・調査研究部門構成員等について 2. 令和2年度活動報告及び令和3年度の事業計画について 3. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 4. 大学案内 2022 版の作成について 5. 大学と高校のコミュニケーションプラットフォーム「SYMPA」について 6. その他 (1) 今年度予定されている学外大学説明会等について (2) 5月以降の会議開催日について
5月21日	検討事項 1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. 岐阜大学案内2022について 3. オープン・キャンパス2021について 4. その他
6月25日	検討事項 1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. Webオープン・キャンパス2021について 3. 令和4年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドラインについて 4. 高大連携プラットフォームSYMPAの運用開始について 5. その他 (1) 高校説明会（来訪）について
7月30日	検討事項 1. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催ウェビナー「新高等学校学習指導要領」について 2. Webオープン・キャンパス2021「夢をかなえる・将来の姿」掲載内容について 3. Webオープン・キャンパス2021「学生企画」について 4. 2019～2021年度志願者・入学者について 5. その他 (1) 後学期開催予定について
9月17日	検討事項 1. 「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」及び「令和7年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」について 2. 「大学案内2023」について 3. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催ウェビナー「変わる高校の教育 2022年度実施新高等学校学習指導要領について」 4. Webオープン・キャンパス2021オンライン企画参加者数について 5. その他 (1) 令和3年度国立大学入試担当課長連絡協議会
10月18日	検討事項 1. 岐阜大学Webオープン・キャンパスについて 2. 大学案内2023について 3. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催Webinarについて 4. その他 (1) 国立12大学・東海地区主要大学合同進学説明会

	(2) 高等学校との情報交換FDについて
11月15日	<p>検討事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル高大接続連携部門FD「現在の高等学校の教育（授業、新カリ、入試準備等）の実態」の開催について</li> <li>2. 国立12大学・東海地区主要大学合同進学説明会について</li> <li>3. Webオープン・キャンパス2021「学生企画」について</li> <li>4. Webオープン・キャンパス2021結果について</li> <li>5. その他</li> </ol>
12月20日	<p>検討事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. FD「現在の高等学校の教育（授業、新カリ、入試準備等）の実態」講師との意見交換（資料1・当日配付）</li> <li>2. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル高大接続連携部門会議報告について</li> <li>3. その他</li> </ol>
3月28日	<p>検討事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年度活動報告について</li> <li>2. 令和4年度に開催される学外進学説明会等について</li> <li>3. 東海国立大学機構アカデミック・セントラル高大接続連携部門事業進捗報告について</li> <li>4. その他</li> </ol> <p>(1) 大学案内2023の再校確認について</p>

## 2 活動内容及び成果

### 【広報活動】

#### ○オープン・キャンパス

例年、8月中旬に6千数百人を集めるオープン・キャンパスは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み中止することとし、それに代えて昨年度から開設した「Webオープン・キャンパス」の内容を充実させることとした。特に、各学部等によるリアルタイム・オンライン企画を新たに実施し、9月末までのアクセス件数は昨年度の2.6倍、約27,000件となり、参加者アンケートも好評であった。

#### ○大学案内

「大学案内2022」を完成させ、広く広報活動に活用した。また、「大学案内2023」の作成方針を決定し、原稿の作成、初校の校正を行った。

#### ○高校生の大学見学会・高校における説明会

令和元年度8回（県内4、県外4高校）の高校生が本学を訪れた大学見学会は、コロナ禍により令和2年度はすべて中止、令和3年度も1回（県内1高校）のみであった。また、高校へ出向く進学説明会もコロナ禍の影響で、県内2高校のみであった。

#### ○大学説明会

新聞社や国立12大学共催の大学説明会は、令和元年度は5回参加したが、昨年度に続き中止を余儀なくされた説明会が多く、令和3年度は3回であった。

### 【高大接続】

#### ○岐阜県高等学校長代表者との懇談会（R3.7.29）

大学・高校双方の新たな情報や意見交換等を中心とし、施設見学会では航空宇宙生産技術開発センターを見学した。参加者や陪席者を減らして開催したが、懇談会を通じて、県内高校のコロナウイルスに対応した学習状況や新学習指導要領への対応などの情報を共有することができた。

#### 【調査分析】

- 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会、国立大学入試担当課長連絡協議会

新型コロナウイルス感染症拡大により中止、資料配付のみとなった。要点となる資料は部会で情報共有した。

- 教学 I R データセットの活用

広報等に活用いただくよう過去3年間の学部別・入試区分別・高校別の志願者・入学者等の集計データを各学部部門員に配付した。

#### 【東海国立大学機構との連携】

- 東海国立大学機構アカデミック・セントラル主催 Webinar 等

昨年度に続きアカデミック・セントラル主催ウェビナーを企画した。今年度は「変わる高校の教育 2022 年度実施 新高等学校学習指導要領について」と題し、岐阜県教育委員会及び岐阜県高等学校長協会から講師を招き、参加者数165人と盛況だった。

加えて、県内の高校長3名を講師として、アカデミック・セントラル高大接続連携部門主催FD「現在の高等学校の教育（授業、新カリ、入試準備等）の実態」を開催、131名の参加があった。校長先生方には、引き続き本学高大接続連携部門会議に参加いただき、各学部等の委員と精力的な意見交換が行われた。

### 3 課題及び次年度の取組方針

例年実施する広報活動、高大接続に係る活動を継続する。

加えて、令和4年度に入学する高校生から新学習指導要領が適用され、年度内に令和7年度入試の内容を公表しなければならないこと、東海国立大学機構アカデミック・セントラルとの連携などの課題に取り組む。

#### 【入学者選抜方法】

- 英語4技能評価、学力の3要素の評価及び新学習指導要領

大学入学共通テストの国語、数学の記述式問題や英語の民間試験の導入を見送ることになり、各大学の入試において、学力の3要素の多面的・総合的評価を求められている。それに対応した選抜方法と併せて、新学習指導要領に対応した入学者選抜方法を令和5年3月には公表し、令和7年度入試（同6年度実施）から実施しなければならない。

#### 【東海国立大学機構アカデミック・セントラルとの連携】

- 広報・FD等

アカデミック・セントラル高大接続連携部門で企画する。

#### 【新たな連携組織の設立】

- 入学者選抜関連

入学者選抜体制の情報共有等、連携を検討するための新たな組織を設けることが、東海国立大学機構執行部との領域別対話で求められたので、検討を要する。

以上

# 令和3年度基盤教育センター活動報告

センター長 山田 敏弘  
副センター長 瀨瀬 守  
                  廣内 大輔  
                  橋本 智裕

## 1. 会議等の記録

教養教育推進部門から基盤教育センターとなり2年目の令和3年度は、多くの改変を議論しよりよい形で実現に結びつけた。会議は、センター長と3名の副センター長の執行部と全共事務室職員による打合せを経て、人文、社会、自然、スポーツ健康科学、英語、第二外国語、複合領域、日本語日本事情の各専門部会長に、機構等職員数名を加えた基盤教育センター企画運営会議に諮るという方式で報告・審議を行い、委員の意見を反映させた後、必要な項目について、全学教学委員会に諮った。

表1 基盤教育センター企画運営会議

開催日	主な審議議題
4月5日	第1回基盤教育センター企画運営会議 1. 不正行為に関する報告と措置（案）について
5月10日	第2回基盤教育センター企画運営会議 1. 令和3年(2021年)度非常勤講師採用計画の一部変更について 2. 令和3年度後学期授業時間割（案）について
6月7日	第3回基盤教育センター企画運営会議 1. 令和3年(2021年)度非常勤講師採用計画の一部変更について 2. 令和3年度教育推進・学生支援機構基盤教育センター推進費（前期分）の配分（案）について 3. 令和3年度後学期全学共通教育開講科目「Web履修申請」日程（案）について 4. 英語の外部試験の単位認定基準について
7月5日	第4回基盤教育センター企画運営会議 1. 英語の外部試験の単位認定基準について 2. 令和3年度前学期定期試験の実施について 3. 教育推進・学生支援機構 基盤教育センターに関する規程等の改正



	<p>について</p> <p>4. 「岐阜学」について</p> <p>5. 令和4年度からのカリキュラム変更について</p> <p>6. 令和3年(2021年)度非常勤講師採用計画の一部変更について</p>
9月6日	<p>第5回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 基盤教育センターに関する規程等の改正について</p>
10月4日	<p>第6回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 大学以外の教育施設等における学習の単位認定について</p> <p>2. 全学共通教育科目の各部会への登録について</p>
11月8日	<p>第7回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について</p> <p>2. 令和3年度教育推進・学生支援機構基盤教育センター推進費(後期分)の配分(案)について</p> <p>3. 令和4年度開講授業計画について</p>
12月6日	<p>第8回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 令和4年度前学期履修申請日程(案)について</p> <p>2. 令和4年度開講科目授業計画(新規開講科目含む)について</p> <p>3. 令和4年度非常勤講師採用計画について</p>
1月5日	<p>第9回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 令和3年度後学期定期試験の実施について</p> <p>2. 令和4年度非常勤講師採用計画について</p> <p>3. 令和4年度前学期授業時間割(案)について</p> <p>4. 東海国立大学機構が設置する大学間の単位互換制度に係る単位互換実施要領について</p>
2月7日	<p>第10回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 教育推進学生支援機構 基盤教育センターに関する規程等の改正について</p>
3月7日	<p>第11回基盤教育センター企画運営会議</p> <p>1. 岐阜大学全学共通教育科目に関する規定の一部改正について</p>

## 2. 活動内容及び成果

コロナ禍の2年目。さまざまな経験を積み上げ、基盤教育センターの授業も、原則対面という学長方針の下、多くの授業を対面開講した。対面授業に反対する教員もおり、また種々の理由で遠隔、及び遠隔を含んだ授業となったものもあったが、勉学のみならず大学での友人や教職員とのネットワーク作りにも資することが全学共通教育の使命と考え、その基本

方針を貫いた。会議の審議事項には現れないが、このような活動方針を話し合い、全学に伝えることも、この基盤教育センター企画運営会議の重要な役割であった。また、コロナ禍でのベストプラクティス授業も、後述するニューズレターに報告するなど、禍転じて福と成すための活動も行った。

○年度当初、基盤教育センターに課せられた3つの検討課題があった。それは、①第二外国語関係科目の講義科目「言語と文化」への移行、②複合領域科目の「岐阜学」への移行、③キャリア支援のための「日本語表現」及び「キャリア形成」のための「社会人リテラシー科目」の新設であった。これらは、令和4年度からの実施に向けて規定改正も含めて議論し実施にこぎ着けた。さらに、年度途中で課題となった④英語の外部試験成績による単位認定、⑤数理データサイエンス・AI科目の新設については、④を全学部統一の基準を設けたことでわかりやすくし、⑤については、一部学部での先行実施を含めて迅速に対処した。さらに、名古屋大学との単位互換制度を整備し、そのパイロット的授業の開講にも至った。年度当初の課題のみならず、自ら改善すべき点に対処し、さらに新規課題にも迅速に対応した1年間であった。

○FD・SDについては、相変わらずのコロナ禍という制限もあり、年度内1回の開催に留まった。

第1回基盤教育センターFD 9月1日

金子美博氏（工学部電子電気・情報工学科准教授）

「秋からも、読書して - 気の向くまま論文検索」

自然科学部会長でもある金子先生に、論文検索のみならず図書館利用サイトカーリルを用いた図書検索の方法を通じて、学術論文をはじめ、読むことの意義を学んだ。

FD・SDの開催が少なかった代わりに、昨年度開催できなかった教養講演会を次のように開催した。

第10回教養講演会 11月24日

河崎靖氏（京都大学人間・環境学研究科教授）

「ゲルマン語学をめぐって - 比較言語学入門」

よく知られたゲルマン民族の大移動から現代に至るまでの3000年にもわたるヨーロッパ言語の変化を解説いただいた。学生の参加も3名あった。

○ニューズレターも、2回の刊行を行った。コロナ禍でなぜ対面授業を進めるのかを機構長から訴えかけてもらい、岐阜大学がいかに対面授業を重視しその効果が上がっているかを分かりやすく周知するなど、学生や教職員の不安解消にも一役買った。また、上記、令和4年度からの全学共通教育の変更点についても周知を図った。

### 3. 課題及び次年度の取組方針

コロナ禍も2年目となり経験則に基づき科学的判断により適切な授業運営ができるようになった。とはいえ、オミクロン株のような感染力の強い変異種に対応し、対面での授業が

一部難しくなっていることは否めない。特にスポーツ健康科学を担当する教員の負担は大きい。この点をいかにサポートするかを考えていかねばならない。

一方、遠隔授業に慣れた教員の中には「通勤が困難だから」という理由などによる遠隔授業の要望も出てきた。遠隔授業は特例がない限り 60 単位までとの制限がある。大学全体で戦略的に遠隔授業の取り入れ方を考えていく中で、名大との単位互換・共同開講授業なども合わせて考えていかなければならない。

第二外国語関係科目を講義科目にすることは、経費節減と時代の趨勢からやむを得ない措置であると認識している。講義科目「言語と文化」を 1 つの授業で 2 単位取得できるとなった以上、内容を充実したものにできるかが令和 4 年度の課題である。一方で、やる気のある学生には、後期に自由選択科目としての語学演習授業を設けた。受講生をいかに多く確保することができるか、大学の教養教育の質も問われていくであろう。さらに、受講生が多ければ、名大の中級以上の語学クラスを岐阜大学生も受けられるようにするなどの方策も講じなければならない。令和 4 年は、第二外国語に関して正念場の年になる。

「言語と文化」とともに、岐阜学と社会人リテラシー科目の新設が決まった。岐阜学は、あまりに岐阜に特化しすぎると開講科目が揃わないという実情があり、やや「地元」を広く採っている。その内容の精査も求められていくであろう。また、日本語表現は、まず大学生として著述する上で必要な技術を習得する I が必修化される。そのことは、多くの学生がまず母語で思考することの重要性を考えれば当然の方向性であると言える。より実用的な内容として精査され改良されることが望まれる。一方、「社会人リテラシー科目」と銘打つ限り、II として社会に出てから必須となる対人ストラテジーに関する内容の整備も急務となる。先輩諸氏に学ぶキャリア形成科目とともに充実を図ることが期待される。

遠隔で FD 等が全国から参加できるようになり、ある意味では活況を呈するようにもなった。反面、内容については執行部での精査をしてから発信することが求められるようになった。そのためか、令和 3 年度の FD は振るわなかった。より活発に教養教育を議論しよい内容にしていくために、質量ともに改善しなければならない。この点は特に課題として申し送りたい。

(文責 基盤教育センター長 山田敏弘)

# 令和3年度学生支援センター活動報告

センター長 横田 康成  
副センター長 清島 絵利子

## 1. 会議等の記録

本文は見出しの下に1行空けて。MS 明朝 10.5 ポイントを使用。英数字は半角, Times New Roman を用いる。

会議等の記録は、表などを用いて簡潔に表現

表1 学生支援センター会議

開催日	主な審議議題
5月26日	<キャリア・就職支援> 日本語表現Ⅰ・Ⅱ授業概要について キャリア教育に関する動画授業の概要について 令和3年度就職活動支援ガイダンスについて 岐阜大学教育推進・学生支援機構学生支援センターキャリア・就職支援センター細則の制定について 令和3年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業ー 岐大生が創造する岐大生のための学生支援 ー公募要領について <学生生活支援> 春祭について 令和3年度 課外活動支援事業 実施要項について
7月12日	<キャリア・就職支援> 令和3年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業について
8月27日	<学生生活支援> 令和3年度課外活動支援事業について
12月24日	<センター長から> 学生ステータス・システム (仮称) について チャットボットについて <キャリア・就職支援センター関係> 日本語表現Ⅰ・Ⅱ授業のシラバスについて

	<p>令和3年度基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業中間発表について</p> <p>&lt;学生生活支援関係&gt;</p> <p>大学祭・春祭の顧問について</p> <p>岐阜大学入学料・授業料免除申請時における虚偽申請の取扱いについて</p>
1月31日	<p>&lt;学生生活支援関係&gt;</p> <p>春祭について</p> <p>副学長表彰について</p>
3月4日	<p>&lt;キャリア・就職支援センター関係&gt;</p> <p>令和3年度学生支援プロジェクト最終報告会について</p> <p>&lt;学生生活支援関係&gt;</p> <p>副学長（教学担当）表彰について</p> <p>令和4年度学生団体設立承認について</p> <p>令和4年度課外活動支援事業実施要項について</p>

## 2. 活動内容及び成果

### 1. 令和3年度 学生支援プロジェクト事業の実施

学生の自主的活動を支援し、岐阜大学の学生として共通して身につけてほしい力、すなわち基盤的能力（「考える力」「伝える力」「進める力」）の育成を目的に、令和3年度学生支援プロジェクト事業を実施した。本プロジェクトは、この目的達成を念頭に、学生3名以上からなる団体に対して、最大10万円の経済的支援を実施するものである。

令和3年6月に学内募集をし、最終的に4団体から応募を受けた。これを受けて、7月7日(水)に学生支援センター委員参加のもと、パワーポイント資料を使った10分間のプレゼン審査を実施し、4団体の応募を採択した(のち1団体が学業多忙のため辞退)。

以下が採択された3団体の活動テーマである。

#### (1) 手軽に！健康的に！～地元の食材を使ってレシピ紹介～

(目的) 一人暮らしの学生を対象に、手軽で健康的な料理法を提案する。地産地消への理解を深める。

#### (2) 医療福祉界の課題に挑む！「のむゼミ」

(目的) 医療福祉業界における人手不足と障がい者に対する偏見を学生の立場から解消する。

#### (3) キャンパスにおける学生と教職員の協働による自然再生の取り組み

(目的) 鷺ヶ池に対する学生や教職員の関心の向上、生物多様性に関する取り組みに対

する正しい理解と認識の普及。

予定されていたイベントがコロナ禍の影響で中止されるなど、活動自体が大きく制限される状況が続いたものの、可能な範囲でどのグループも着実に活動を実施していた。また、最終報告会では基盤的能力の修得状況を客観的に振り返り、審査員からの質問にも的確な応答がなされた。団体の代表からは、今後の展開についてプロジェクト終了後も活動を続けるという、心強い応答があった。

## 2. 社会人リテラシー科目「日本語表現Ⅰ（初級）」の開講

令和4年度から、社会人リテラシー科目「日本語表現Ⅰ（初級）」を開講し、全学で必修化されることになった。その特長と授業概要などは、次のとおりである。

### 【特長】

- 令和4年度入学生から全学必修科目。前学期もしくは後学期のどちらかで履修。
- 全15回オンデマンド型授業で実施（1単位）。
  - ・各回の講義の基本構成
    - ①イントロダクション（既有知識の確認）：5～10分程度
    - ②講義（パワーポイントの動画・音声あり）：3つの内容を40～60分程度
    - ③確認テスト（AIMSのクイズ）：多肢選択式100点満点，20分程度
- 講義後の確認テストは、AIMSのクイズを活用し、多肢選択式でおこなう。
- 第13回目には小論文，第14回目には書評レポートを執筆し、AIMSに提出させる。  
提出物は匿名化し、無作為にレポートを割り当てて、学生同士による相互評価をおこなう。  
※第13回と第14回の課題提出は必須。
- 第15回目には、第14回目作成の書評レポートをもとに、発表用のスライドを作成し、他者に向けた発信の方法を学ぶ。  
※第15回の課題提出は任意とし、提出者には加点。
- 書評レポートの優秀作品は、書籍とともに図書館で掲示し、読書のきっかけを作る。

### 【授業概要】

初級編は、大学での学習や日常生活でのさまざまな場面で適切な日本語を使い、レポートや論文が執筆できるとともに、よりよいコミュニケーション力も身に付けることをねらいとしている。日本語の基本的な知識を身に付け、思考力を養いながら、進んで表現活動に取り組むことで、日本語力の向上や良好な人間関係を柱とした大学生活の充実を図れる態度を養う。（参照：令和4年度 web シラバス「授業概要」）

### 【シラバス】

1. ガイダンス：授業の受け方，大学生に必要な日本語表現とは，ノートテイキング
2. 待遇表現について（1）〔敬語〕：相手に配慮したことば遣いとは，敬語の考え方や種類，敬語を用いた会話
3. 待遇表現について（2）〔ことばの使い分け〕：共通語（標準語）と方言の違い，相手

や場面に応じたことばの使い分け、会話におけるルール（相手との距離感を考える）

4. 待遇表現について（3）〔非言語コミュニケーション〕：非言語コミュニケーションとは、会話で大事なアクセントやイントネーション、相手が不快にならない話し方

5. Eメールについて：Eメールの性質・特徴を知る、Eメールの書き方、Eメールでのマナーや留意点

6. メディア・リテラシーの基礎：メディアの種類と考察、SNSへの投稿と利用の留意点、情報の読みとり方（フェイクニュースの見分け方など）

7. 文章の論理的・批判的な読み方：文章の読み方、アカデミック・リーディング、クリティカル・リーディング

8. 文章作成の基本：Wordを使用した書き方、文献や情報検索の方法、正しい引用方法と研究者倫理

9. 語彙力をつける：表現方法に応じた語彙の選び方 part1, 表現方法に応じた語彙の選び方 part2, わかりやすい文字表記とは

10. 語彙力を高める：連語・コロケーションを意識する、類義語を習得する、マップ法で語彙を増やす

11. 語をつなげて文を作る（1）：適切な文の長さや内容、適切な句読点の打ち方、助詞・接続詞の使い方

12. 語をつなげて文を作る（2）：語順（主語と述語の関係など）、文と文の結びつき、文末表現の留意点

13. 文を連ねて文章を構成する（1）：段落の設定、論の展開方法、作文・レポート・論文の違い

14. 文を連ねて文章を構成する（2）：レポート・論文の種類（型）を知る、レポート・論文の書き方、評価の観点

15. プレゼンテーションの方法：準備・レジユメの作成の仕方、効果的なスライドの作成、プレゼンテーションでの適切な話し方

### 3. 就職支援室における学生のための就職支援

就職支援室においては、就職活動支援ガイダンス及び就活に必要なスキルが習得できる就活セミナー等を主催してきた。この取組は、新型コロナウイルス禍においてもオンラインで開催され、一部の企画では名古屋大学との相互協力もあって就活学生にとって大きな支援となったと思われる。これら取組についても、開催予定内容を学生支援センター運営委員会委員及び各学部等学務系職員の間で情報共有することにより、全学的な就職支援を実施することができた。

### 4. 新型コロナウイルス禍における課外活動支援事業の実施

課外活動の活性化を目的として、申請のあった25団体に対し1,203千円を支援した。新型コロナウイルス感染症蔓延により、令和2年度は全国大会等が中止となったため、令和3年度は、競争的経費を考慮せず、経常的経費のみ支援した。新型コロナウイルス

禍という前例のない状況においても、課外活動に対してより効果的な支援方策を立てることができたと考える。

#### 5. 令和4年度学生団体設立の承認

学生団体から提出のあった継続団体及び新規団体に対して、設立を承認した。

### 3. 課題及び次年度の取組方針

令和2年4月に発足した本センターは、障害学生支援、就職支援及び課外活動等の学生生活支援に取り組んできたが、令和3年度からは、本センター内にキャリア・就職支援センターを設置し、就職支援、キャリア教育及び学生生活支援に取り組んできた。

次年度においても、本センターと保健管理センターがより密接な連携を取り、学生支援ワノストップ体制をキーワードとして、学生支援に取り組む必要がある。

### 4. 令和3年度学生支援センター運営委員会委員

所 属	役 職	氏 名
センター長(副機構長)	教 授	横 田 康 成
副センター長	准教授	清 島 絵 利 子
学生支援センター(キャリア支援)	特 任 准教授	白 村 直 也
教育学部	教 授	松 永 洋 介
地域科学部	助 教	中 塚 温
医学教育開発研究センター	講 師	川 上 ち ひ ろ
医学部看護学科	准教授	今 田 葉 子
工学部	教 授	小 嶋 智
応用生物科学部	教 授	西 村 眞 一
社会システム経営学環	教 授	出 村 嘉 史
地域協学センター	助 教	塚 本 明 日 香
保健管理センター	教 授	西 尾 彰 泰
学生支援課長	課 長	大 久 保 淳



# 令和3年度教職課程支援センター活動報告

センター長 石川 英志

## 1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表1のとおりである。

表1 教職課程支援センター会議

開催日	主な審議議題
6月3日 (メール会議)	1. 2021年度前学期教職科目の履修登録取消願の申請について 2. 2021年度前学期非常勤講師の採用について 3. 2021年度教育実習・養護実習について 4. 2021年度教職実践演習について 5. 2021年度「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」について 6. 2021年度全学共通教職科目開講授業について 7. 2022年度からの教職科目の時間割変更について
9月24日	1. 令和3年度後学期全学共通教職科目の開講について 2. 令和3年度 教職実践演習について 3. 令和3年度後学期非常勤講師の採用について 4. 令和4年度教育実習事前指導について 5. 令和4年度教育実習の実習予定校について 6. 令和5年度教育実習予定者の教育実習ガイダンスについて 7. 令和4年度入学生からの授業科目名称変更について
11月24日	1. 教育実習に向けての麻疹等抗体非保有者の確認および指導について 2. 令和4年度教育実習事前指導について 3. 令和4年度全学共通「教職課程」の授業予定について 4. 令和3年度岐阜県教員免許状更新講習に係る学内分配金について
2月1日	1. 令和4年度教職課程要覧について 2. 岐阜大学教育推進・学生支援機構教職課程支援センター細則の一部改正(案)について
3月15日	1. 令和4年度教員免許状更新講習について 2. 令和4年度教職課程支援センター構成員の選出について

## 2. 活動内容及び成果

### (1) 「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表2, 表3に示すように, 1年次生から4年次生まであわせて, 前学期134名, 後学期125名が, 「教職課程」を受講した。

次に, 教員採用試験結果について表4に示す。現役4年次生および大学院生6名が教員採用試験を受け, 一次試験合格者は3名, 二次試験合格者(正規教員)は1名であった。なお, 教職課程を受講した既卒者の受験や合格に関するデータは反映されていない。また, 講師に関しても表中に反映されていないが, 常勤講師1名が確定している(令和4年3月31日現在)。

表2 令和3年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部	応用生物科学部		医学部	自然科学 技術研究科
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科	
1年次	28	9	10	9		
2年次	44	9	18	17		
3年次	27	3	14	10		
4年次	33	3	15	8	7	
院 生	2					2
合 計	134	24	57	44	7	2

表3 令和3年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

学 年	合 計	内 訳				
		工学部	応用生物科学部		医学部	自然科学 技術研究科
		応物コース	生産環境	応用生命	看護学科	
1年次	23	9	8	6		
2年次	41	8	18	15		
3年次	26	3	14	9		
4年次	33	3	15	8	7	
院 生	2					2
合 計	125	23	55	38	7	2

表4 令和3年度・教員採用試験結果

学部	区分(教科)	一次選考試験		二次選考試験	
		受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	1(1)	0(0)	0	0
応用生物科学部	高等学校教諭(理科)	4	2	1	0
	高等学校教諭(農業)	0	0	0	0
医学部看護学科	養護教諭	1	1	1	1

( ) は院生で内数

## (2) 教職課程の充実に向けた方策について

教職課程の充実を直接的、間接的に図る方策として令和3年度に実施した項目は次のとおりである。

### ① 「主体的で対話的な深い学び」(アクティブラーニング)への対応、生徒指導・進路指導に関する学生の意識を受けた教職専門科目の構想と実践

高等学校では、今次改訂の学習指導要領が令和4年度より全面実施となる。そこで求められている「主体的で対話的な深い学び」に対応して、教職科目の授業においてもアクティブラーニングを試みている。また、高校現場における生徒指導や進路指導については、出身高校によって学生の意識に大きな差があるため、それぞれに対応した指導の必要性を感じている。その一端は今年度センター紀要第5号に示したとおりである。

### ② センタースタッフと各学部教職専門科目等授業担当者との連携

教職課程運営や教職専門科目の改善や充実にあたって、教職課程支援センターと学部(工学部・応用生物科学部・医学部看護学科)との連携は欠かせない。今年度も、こうした連携を継続的に推進することを目的として、同センターと各学部教職専門科目等授業担当者との対面会議(「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」)を年間2回(8月、2月)開催した。今年度を通しての学生の学修に関する情報の交換・共有、指導の現状と課題等について協議し、次年度に向けて、一貫性をもった教職課程のカリキュラムの構築と指導の充実を図るための協議を展開することができた。

### ③ 教職課程支援センター紀要第5号発刊

29年度に本センター紀要の創刊号を出したが、今年度も第5号を継続発刊することができた。発刊の意図は、紀要という装置を設けることによって、センタースタッフが自らの大学教育実践を分析・省察し、その基盤となる理論知と実践知の形成と充実を図ることにある。

そうした点は上記の①にも示したとおりである。今後も引き続いて進めていく予定である。

#### ④ コロナ禍状況下の教員免許状更新講習の対応

今年度の岐阜県教員免許状更新講習は、新型コロナウイルス感染症対策のため、必修講習及び選択必修講習（複合型）については、文部科学省から通知のあった特例を活用し、通信式講習（インターネットを活用したオンデマンド方式）かつ郵送試験で実施した。

オンデマンド用動画の作成については、岐阜大学教育学研究科教員 10 名と岐阜聖徳学園大学教育学部教員 1 名が担当した。合計 1,597 名の受講申込者へ教材等を郵送し、試験についても郵送試験で実施した。

少人数で実施する選択講習及び選択必修講習（単独型）については、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、対面講習のまま実施した。

令和 4 年度については、教員免許更新制が令和 4 年度の途中で法改正によって発展的解消の予定であるため、岐阜県教員免許状更新講習事業としては開催を見送ることとした。

令和 3 年度岐阜県教員免許状更新講習受講者数（岐阜大学開設分）

講習の種類	開設講習数	受講者数
必修講習	6 講習	1,150 名
選択必修講習（複合型）	8 講習	423 名
選択必修講習（単独型）	18 講習	458 名
選択講習	118 講習	1,276 名

※選択講習の受講者数は延べ数を示す。開設講習数には中止した講習を含む。

### 3. 課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物科学部の教員免許取得希望者に対し、本センターで開講する教職専門科目が高校教員の養成に資する教育内容を提供しているかどうかを十分吟味し、個々の学生の状況に応じた丁寧な指導に努めていきたい。そのためにも、一般学部学生の学修に対応したセンタースタッフの教職専門科目の理論的・実践的な基盤の充実、教職課程支援センターと各学部との一層の連携等を図るとともに、岐阜県教育委員会や岐阜県内の高校に対して、岐阜大学が教育学部以外に教員免許状取得が可能な仕組み（組織体制）を用意し充実に努めていることを発信し広報していきたい。

令和 5 年度より実施予定の「情報通信技術を活用した教育の理論および方法」に関する具体的な内容や構成及び授業の在り方について、次年度中の検討が必要である。また、教育職員免許法施行規則の改正に伴って義務化される自己点検評価の枠組や方法についても検討する。